

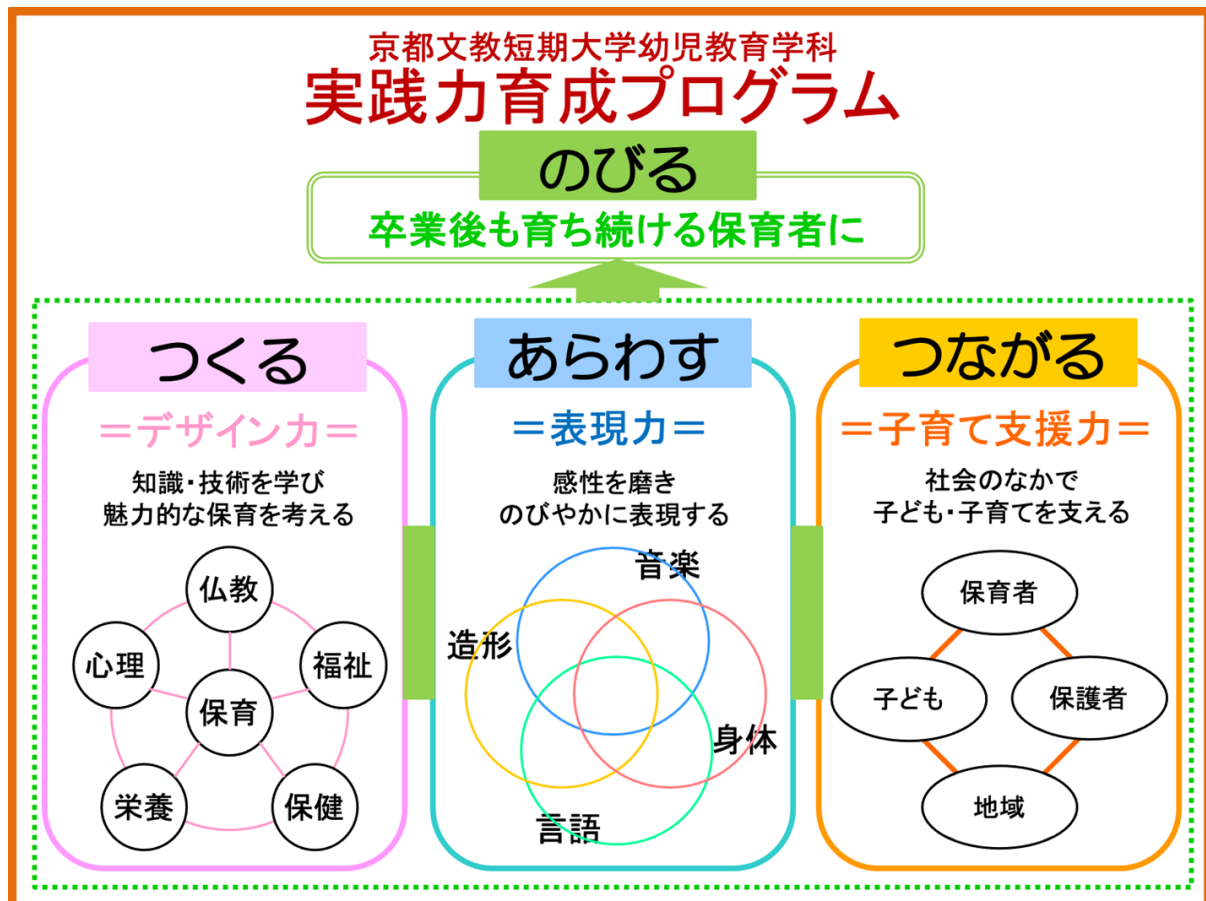
教員の養成に係る教育の質の向上に係る取り組み

●幼稚園教員養成課程（幼稚園教諭二種免許状）

京都文教短期大学幼児教育学科では、保育士資格を併せて取得する保育者の養成を基本としています。そのために、教育目標を3つ立てています。

①幼児教育・保育に関する専門的な知識と技術を修得し、柔軟な思考力と表現力、子どもを理解する力を養う。②変化し続ける社会に興味・関心をもち、状況を的確に見極める判断力と適切な態度を身につける。③子ども・大人の別なく他者とコミュニケーションをとり、自らを振り返りながら主体的・意欲的に社会に貢献できる。

上記の教育目標を達成するために、幼児教育学科での2年間の学びを「実践力育成プログラム」として体系化し、総合的な実践力を備えた保育者の養成をめざします。学生一人ひとりが自分の得意分野を伸ばし、卒業後も保育の現場で成長し続けるために必要な3つの力「デザイン力」「表現力」「子育て支援力」を習得することをめざします。「実践力育成プログラム」は、学生が保育者に必要な実践力を総合的に捉えることを可能にします。2年間の専門科目および短期大学の共通科目の学びが、1年次の福祉施設実習、1年次と2年次の幼稚園教育実習、2年次の保育所実習で、理論と実践の往還的学びとなります。



2年間の学びは、幼児教育や保育現場での経験豊かな教員が実践的な学習内容と方法によって、実践力を高める指導とサポートを行います。さらに、保育者に求められるコミュニケーション力と社会への興味関心を持って取り組むことを意識させ、保育者として働く未来の姿を思い描くことができ、幼児教育と保育現場への理解を深めていく指導を行います。